

スポーツ科学部 スポーツ教育学科



スポーツを中心とした教育方法を学び、 小学校・中高教員を目指す

小学校の教員免許を取得できる本学科では、子どもたちをスポーツ好きにする教育方法の修得を目指します。ボランティア活動や教育実習を通じてスポーツや健康に関する知識・技能を身に付け、教育現場が抱える課題について柔軟に対応できる教員を目指します。また、学内にある「教職指導室」で教員採用試験の万全なサポートを行っています。



1

教育現場が抱える課題を 解決できる指導者を目指す

スポーツを軸にし、アクティブラーニングなどを通じて、教師として必要な教養を学び、教育現場で生かせる指導力を学びます。



2

小・中学校・高等学校の 教諭免許を取得可能

小学校教諭1種免許に加えて、中学校・高等学校教諭1種免許(保健体育)も同時に取得可能。



3

教員養成事業に参加し、 実践的なスキルを磨く

都道府県などが実施する教員養成事業に参加し、現場で学びます。また、模擬授業や介護等体験などの実習に取り組みます。

1年次

基礎力を高めながら教職への理解を深める

2年次

演習などを通して教職における指導力を向上

3年次

体験的学習を通して実践的な課題を発見

4年次

教職理論と実践をつなぎ、実践的指導力を向上

卒業後の主な進路

- 小学校教員、中学校・高等学校教員(保健体育)
- 生涯学習におけるスポーツ指導者
- 幼児教育指導者
- スポーツ関連企業など

MORE INFO

さらに詳しい
学部学科案内は
WEB、スマホで!



スポーツ科学部 スポーツ健康科学科



からだを軸に科学・健康・文化を学び、 スポーツで社会に貢献できる人材を目指す

スポーツの基礎的な理論や知識を学べる授業に加え、スポーツをあらゆる角度でとらえるユニークな授業が多い本学科では、スポーツ指導者やトレーナーはもちろん、スポーツの枠を超えたさまざまな分野の職業を目指します。また、スポーツインターンシップ実習、スポーツプロジェクト実習などの体験型授業を通して、現代社会で必要となる実践力を強化。中学校・高等学校の保健体育の教員免許の取得も可能です。



1

幅広くスポーツ科学を学び、 コーチングスキルの修得

スポーツの意義や価値を正しく理解し、発達段階や技能レベルに応じた最適なコーチングを行い、選手を成功に導けるコーチの育成を目指します。



2

最先端のトレーニング法を学び、 即戦力のトレーナーを育成

医学的な知識を基に、科学的に最先端のトレーニングやコンディショニング法、運動障害への対処法などを理論と実践を通して学びます。



3

人生を豊かに生きるための 「スポーツ文化」を学ぶ

健康、マネジメント、ビジネスなど、人生を豊かに生きるための「スポーツ文化」を学び、スポーツで社会に貢献できる人材を育成します。

1年次

多角的にスポーツを学び、
社会とスポーツの関わりについて理解を深める

2年次

自身の興味や関心をもとに、
3つの分野からコース選択を行う

3年次

充実した実習科目および
専門演習で実践力を高める

4年次

学びの中で出てきた課題を
卒業研究で解決する

卒業後の主な進路

● 中学校・高等学校教員（保健体育） ● スポーツ指導者・コーチ ● スポーツアナリスト ● スポーツトレーナー ● 総合型地域スポーツクラブ指導員・職員 ● スポーツクラブのインストラクター ● スポーツや医療関連用品の開発販売など

MORE INFO

さらに詳しい
学部学科案内は
WEB、スマホで！





スポーツ科学部

学部長からのメッセージ

スポーツを通して人間力を高めよう!

桐蔭横浜大学スポーツ科学部は、2023年にスポーツ教育学科、スポーツ健康科学科の2学部再編成し、体験的学習を多く取り入れたカリキュラムを通して、さまざまな社会の課題を解決へ導く、「スポーツ」と「からだ」の新たな価値と可能性を探求できる人材育成に取り組んでいます。

現代のスポーツは、「する、みる、支える」などの文化的意義や多様な価値を有しています。スポーツそのものの楽しさや魅力を最大限に生み出すための、特性に応じたパフォーマンスの向上に向けた身体的、心理的アプローチや戦術の分析、医学、科学的視点からのサポートの方法などの学習を通して、「スポーツそのものの価値」を実感する学びと、スポーツが教育、社会、経済、文化等の分野における「スポーツが生み出す波及的価値」の両面からの学びを提供します。

未来を生きるためのコンピテンシー(資質や能力)の獲得は、一人ひとりの生きがいや誰もが参加しやすい社会の創造(ウェルビーイング)と出会う旅でもあります。桐蔭横浜大学の特徴である少人数体験型プログラム等を通して、あなたの新たな可能性を発見する旅に参加しませんか? スポーツ科学部では、卒業後の様々な分野で実践的に対応できる豊かな人間性を有する資質・能力の育成に取り組んでいきます。

佐藤 豊 教授 [体育科教育学 / スポーツ教育学 / 野外教育学]

FACULTY OF SPORTS SCIENCE



スポーツ教育学科



現在の教育現場で求められるのは、魅力ある実践的指導力を有する教員です。スポーツや健康に関する知識・技能を生かして、教育現場が抱える課題を解決できる教員を育てます。

1 年次

学びのステップ

アクティブラーニングなど、教師として必要な教養を学びます。苦手な科目についても基礎力を高め、実技科目などの体育に関する基本的な科目を履修します。

小学体育、教師論、教育心理学、教育原理・教育課程論、自然活動論など

教職課程履修
オリエンテーション

▶ 教職課程仮登録

バレーボール、バスケットボール、
陸上競技、器械運動、水泳、柔道、
剣道、ダンスなど

初等教育コース

スポーツを中心とした教育方法を学び、
小学校教員を目指す

小学校の教員免許を取得できる本学科では、子どもたちがスポーツに親しむための教育方法の修得を目指します。ボランティア活動や教育実習を通じてスポーツや健康に関する知識・技能を身に付け、教育現場が抱える課題について柔軟に対応できる教員を目指します。また、学内にある「教職指導室」で教員採用試験の万全なサポートを行っています。

中高体育専科コース

スポーツを中心とした教育方法を学び、
中高教員を目指す



教職員になるためには…

▷ 多彩な履修科目が必須

体育に関わる授業だけでなく、教師論、教育心理学などの教育に関わる基礎的な科目に加えて、情報リテラシーの授業も必修です。小学校の免許取得には国語、算数から音楽、図画工作、家庭科に至るまで各教科の履修も必要です。

学科長からのメッセージ

児童・生徒の心とからだを守れる先生になろう!

スポーツ教育学科の心掛けている教育は、児童、生徒が待ち望む資質を持った教師・スポーツ指導者の育成です。運動・スポーツが得意な子どもはもちろんのこと、苦手な体育の授業を憂鬱に感じてしまう児童・生徒でも、身体を動かす爽快感や、戦術を考える面白さ、身体の動きをICT機器を使って分析する楽しさなど、子どもが目を輝かせて楽しみながら学べる指導法や、グループで児童・生徒が主体的に学ぶことのできる授業法を、少人数の授業態勢で身に付けていきます。

井口 成明 教授 [保健体育教育法 / 安全教育学 / 野外教育学 / 水泳指導法]



2 年次	3 年次	4 年次	大学院
<p>実際の児童・生徒指導に向けて、教科の知識を深めるとともに、教科に応じた指導法を身に付けていきます。教育現場で生かせる指導力を高めます。</p> <p>各教科概論(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭)、教育方法論、学校体験実習など</p> <p>教職課程履修オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 教職課程本登録 ▶ 介護等の体験説明会 ▶ 介護等の体験申し込み ▶ 教育実習事務手続きに関する説明会 <p>ハンドボール、野球、バドミントン、サッカー、運動部活動論、スポーツ心理学、学校体験実習など</p>	<p>体験的学習を通して課題を課題を発見していきます。各教科、選択した種目で学習指導案の作成・模擬授業に取り組み、実践的能力を高めます。</p> <p>各教科指導法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)など</p> <p>教職課程履修オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 教育実習先訪問・決定 ▶ 教職課程履修継続届の提出 ▶ 内諾依頼発行申請書提出 ▶ 介護等の体験および体験事前指導に関する説明会 <p>各種目指導法(ネット型球技、ゴール型球技、陸上競技、器械運動、武道、ダンス)、保健体育授業演習など</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護等体験実習 老人福祉施設で5日間、特別支援学校で2日間の全7日間 	<p>事前指導、教育実習(小学校:4週間、中学校・高等学校:2~3週間)、教職実践演習により、教職に関する理論と実践をつなぎ、現場での指導力を向上させます。</p> <p>教育実習事前事後指導、教育実習、学校インターンシップ実習、教職実践演習など</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 教育実習事前指導 ▶ 教職課程履修継続届の提出 <p>教育実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 公立学校教員採用第一次試験 ▶ 教育実習事後指導 ▶ 教員免許一括申請手続きに関する説明会 <p>教育実習事前事後指導、教育実習、学校インターンシップ実習、教職実践演習など</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 小 / 中高 教員免許授与 	<p>スポーツ科学 研究科</p> <p>体育・スポーツの現代的諸問題の解決・実現に指導的役割を果たす人材を「高度専門的職業人」と定義し、スポーツ科学の専門知識をさらに充実・発展させた各職場で要求されるより高い専門知識や技能を修得します。</p> <p>スポーツ 健康科学領域</p> <p>[修士課程2年]</p> <p>健康を維持するための身体的メカニズム、医・科学的知識、健康・スポーツ工学など、さまざまな専門知識を学びます。</p> <p>スポーツ 文化科学領域</p> <p>[修士課程2年]</p> <p>多様な社会スポーツ環境を充実・振興するための諸政策・方策、スポーツマネジメント論などを多角的に研究します。</p>

▶ 模擬授業や面接対策

小・中・高の元校長である客員教授3名による教職ゼミに参加して、学校現場についての理解を深め、二次試験に向けた模擬授業や面接対策の指導を行い、その他、一次試験のための個別の学習指導も実施しています。

▶ 実習での経験

4年次に教育現場で学校種に応じて2~4週間の実習に向けて事前に教材研究、学習指導案の作成、教具の準備なども行います。最終週には研究授業として実習校の先生方などが参観し、反省会も行われます。理論と実践の統合の場となります。

教員採用試験合格者数

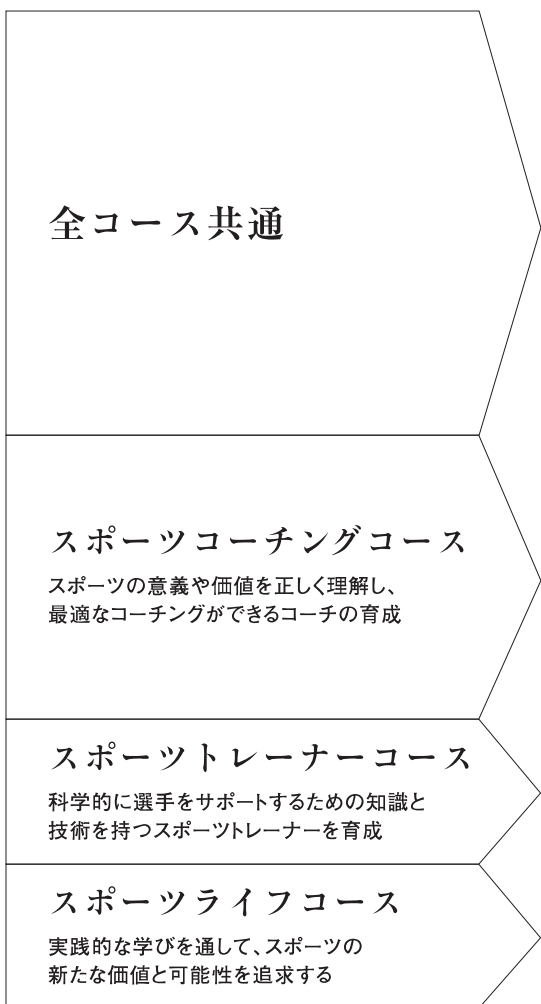
自治体別	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)
小学校	46名	48名
中学校・高等学校	11名	19名
特別支援学校	7名	6名
合計	64名	73名

(既卒者を含む)

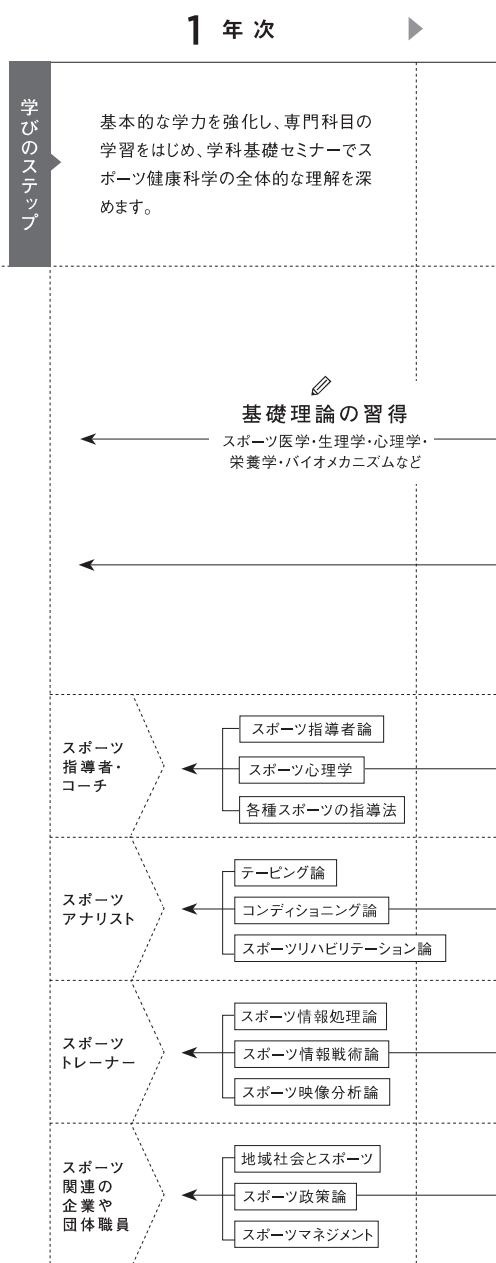


スポーツ健康科学科

スポーツは可能性に満ちたコミュニケーションツールです。
この学科では、スポーツ科学についての専門的知識・技能を身につけ、社会のさまざまな課題に対して主体的に解決できる人材を育成します。



スポーツの基礎的な理論や知識を学べる授業に加え、スポーツをあらゆる角度でとらえるユニークな授業が多い本学科では、スポーツ指導者やトレーナーはもちろん、スポーツの枠を超えたさまざまな分野の職業を目指します。また、スポーツインターンシップ実習、スポーツプロジェクト実習などの体験型授業を通して、現代社会で必要となる実践力を強化。中学校・高等学校の保健体育の教員免許の取得も可能です。



3つのコースで育成される人物像

▷ スポーツコーチングコース

選手を成功に導くスポーツ指導者

4年間の学びを通じて自らのコーチング像を作り上げ、これからの時代に必要とされるデータ分析や、アスリートに寄り添うグッドコーチの能力を高めます。

- 主な進路
- プロスポーツ選手
 - スポーツ審判員
 - 監督・コーチ
 - スポーツアナリスト

▷ スポーツトレーナーコース

選手をサポートする知識と技術

幅広い医学的な知識を基に、科学的なトレーニングやコンディショニング、運動障害への対処法などを理論と実践を通して習得します。

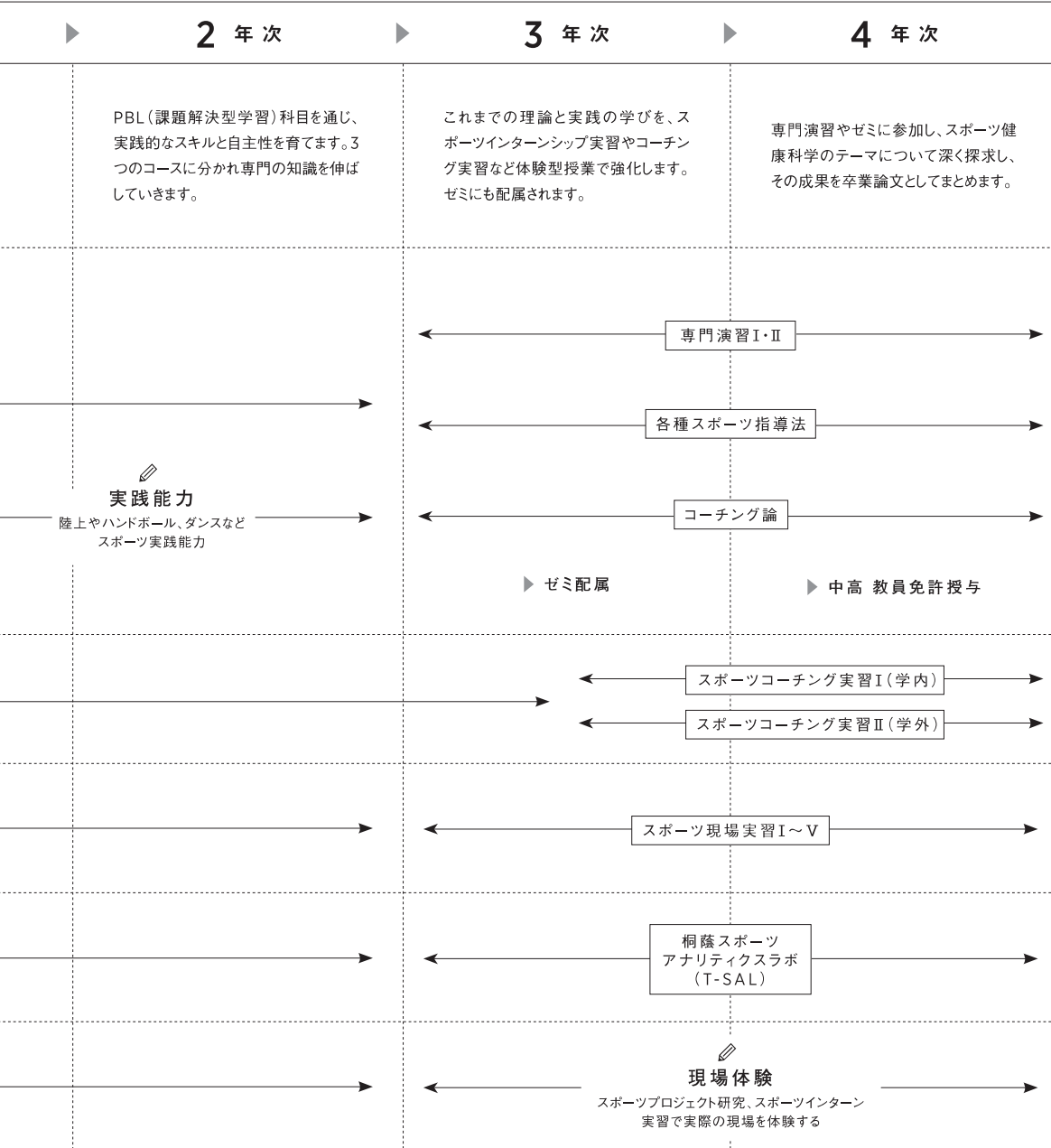
- 主な進路
- スポーツトレーナー
 - スポーツインストラクター

学科長からのメッセージ

スポーツを愛するすべての人を支え、幸せにするための学びを。

現在、多種多様なスポーツイベントやスポーツ大会が開催されています。そこには競技者とそれを支える人、そして観衆がいます。スポーツはそこに集う人みんなを幸せにしてくれる。私はそう信じています。この学科では「スポーツする人を支える」人材を育成します。勝利するためには、記録を更新するためにはどうすればいいのか、誰もがスポーツを楽しむにはどうすればいいか。答えはこの学科にあります。

加藤 知生 教授 [スポーツ理学療法 / アスレティックトレーニング]



大学院

スポーツ科学研究科

体育・スポーツの現代的諸問題の解決・実現に指導的役割を果たす人材を「高度専門的職業人」と定義し、スポーツ科学の専門知識をさらに充実・発展させた各職場で要求されるより高い専門知識や技能を修得します。

スポーツ健康科学領域

[修士課程2年]

健康を維持するための身体的メカニズム、医・科学的知識、健康・スポーツ工学など、さまざまな専門知識を学びます。

スポーツ文化科学領域

[修士課程2年]

多様な社会スポーツ環境を充実・振興するための諸政策・方策、スポーツマネジメント論などを多角的に研究します。

▷ スポーツライフコース

スポーツで社会貢献できる人材

地域、経済、政治、教育、環境など、あらゆる角度からスポーツを学び、スポーツで社会に貢献できる人材を育成します。

主な進路

- スポーツメーカー
- NPO職員
- 総合型地域スポーツクラブ指導員・職員



スポーツ科学部



Q & A

スポーツ教育学科

Q: 体育以外の教科についても授業で学びますか？

A: 教師論、教育心理学などの教育に関わる基礎的な科目に加えて、大学の学習に欠かせない情報リテラシーの授業も必修です。小学校の教員免許取得には国語、算数から音楽、図画工作、家庭科に至るまで各教科の履修も必要です。

Q: 授業以外の採用試験対策サポートはどんなものがありますか？

A: 小・中・高の元校長である客員教授3名による教職ゼミに参加して、学校現場についての理解を深め、二次試験に向けた模擬授業や面接対策の指導を受けることができます。その他、一次試験のための校内学力テストや対策講座や全国模試に加えて、個別の学習指導も実施しています。

Q: 教育実習ではどんなことをするのでしょうか？

A: 4年次に2~4週間の実習に参加します。事前に教材研究、学習指導案の作成、教具の準備なども行い、最終週には研究授業として実習校の先生方や大学の担当教員が参観し、反省会も行われます。理論と実践の統合の場となります。

スポーツ健康科学科

Q: どんな授業がありますか。

A: スポーツ健康科学科は、一般的な体育・スポーツ系の学びとは異なり、ユニークで幅広い分野の授業がたくさん用意されています。最新のトレーニング法から、大学の外に出て実際に体を動かすことで理解を深める体験型授業、さらには人生をよりよく生きるためのスポーツ教養まで多種多様です。

Q: トレーナー、スポーツインストラクター関連で取得できる資格はどのようなものがありますか？

A: 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者および公認アスレチックトレーナー、NSCAストレングス&コンディショニングスペシャリスト、JATI認定日本トレーニング指導者資格、JPSU認定スポーツトレーナー、健康運動実践指導者などがあります。

Q: 教員採用試験対策サポートは受けられますか？

A: 教員を目指す学生のサポートを目的とする教職ゼミでは、大学授業以外に教員採用試験対策の具体的な取り組みを行います。指導は教育委員会や小中高の校長職を歴任された経験豊富な教授3名で構成され、学生個人に即したサポートが受けられます。

卒業生からのメッセージ



高い意識で着実に力を伸ばし、試験を無事に突破

大学4年間の授業では、学生が教師役と児童役に分かれて、模擬授業を行い、板書の工夫や児童のそばで指導助言を行うなど、効果的な指導方法を修得することができました。充実した実践的な授業や先生の親身なアドバイス、そして教員採用試験に向けて同じ目標を持つ仲間との協力。そうした環境があったからこそ、小学校教員の夢を叶えることができた実感しています。

また、自治体の教員養成所に参加したことで、自分が思い描く「なりたい教師像」や「どんな児童を育てたいか」まで具体的にイメージできました。現在小学生のクラス担任を務めていますが、授業を行う上で心がけているのは、児童たちが「できた」という達成感を味わえること。授業の最初には前日の復習を行い、勉強が苦手な児童も、安心して授業を受けられるようにしています。

三浦 美咲

[スポーツ健康政策学部 スポーツ教育学科
(2018年3月卒業)]
小学校教員 大和市立大野原小学校 勤務

授業内容(カリキュラム)についてはこちらをご覧ください。▶▶▶▶



スポーツ教育学科



スポーツ健康科学科